

7 ツクシガモ

(カモ目)

Tadorna tadorna

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、モンゴル、中国北東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ北部、ヨーロッパ南西部、小アジア、南アジア、中国南・東部、日本(主に本州以南)などに渡り、越冬する。干潟や内湾、海上、湖沼などに生息する。貝類や甲殻類、水生昆虫、藻類などを採食する。有明海、周防灘、大阪湾などが主要な越冬地として知られる。

国内分布

北海道、本州北・中部、佐渡、本州南西部、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、琉球諸島、北大東島



写真提供: 友田達也

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★淡路市、たつの市、★稲美町、★加東市

(性別: オス(左)、メス(右))

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 ら息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。
県内では主に12-翌5月に生息する。1960年12月に稲美町で2羽観察されたのが県内で最初の記録で、それ以前の記録はない。1987年以降から県南部を中心に時々記録されるようになり、1994年からはほぼ毎年少数の越冬が記録されている。最近のガンカモ調査では最多で33羽がカウントされている。やや増加傾向にあるが、もともと個体数が少なく、大阪湾の越冬地も不安定な状況にあり、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクとした。

保護上の留意点

貝類やカニ類、ゴカイ類などが多く生息する広い泥干潟や河口、湖沼などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。